

< あなたの治療について >


















血内 - EPd - 1,2 サイクル - MM - q4w

今回の治療は、EPd という治療法で、エムプリシティ（E）という注射薬とポマリスト（POM）とレナデックス（DEX）という内服薬を併用して行います。エムプリシティ、ポマリストは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1、8、15、22日目に点滴を行います。また、ポマリストを1～21日目、レナデックスを1、8、15、22日目に服用します。この治療を4週間（28日間）ごとに2回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日 目	8日目	9~14日 目	15日目	16~21 日目	22日目	23~28日 目	
①	ポマリストカプセル (抗がん剤)	内服							お休み		
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服		お休み		お休み		お休み		お休み	
	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日 目	8日目	9~14日 目	15日目	16~21 日目	22日目	23~28日 目	
①	アセトアミノフェン錠 レスタミン錠 (熱・アレルギーを 抑える薬)	内服		お休み		お休み		お休み		お休み	
②	デキサート ファモチジン (アレルギー予防)	点滴 約15分									
45分以上、間隔をあけます											
③	エムプリシティ (抗がん剤)	点滴 初回約30ml/時~ 段階的に上げる 2回目約180ml/時~ 段階的に上げる 3回目約300ml/時		お休み		お休み		お休み		お休み	

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

## ◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

### ポマリスト・エムプリシティについて

- 好中球減少、血小板減少 ●発疹 ●疲労 ●infusion reaction

## ◎特徴的な副作用について

### ポマリストカプセルにおける

- 傾眠、錯乱、疲労、意識レベルの低下、めまい

自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないように注意すること。

- 急性腎障害

「顔や手足がむくむ、からだがだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る」などの症状

### エムプリシティにおける

- infusion reaction

「発熱、悪寒、高血圧等」などの症状

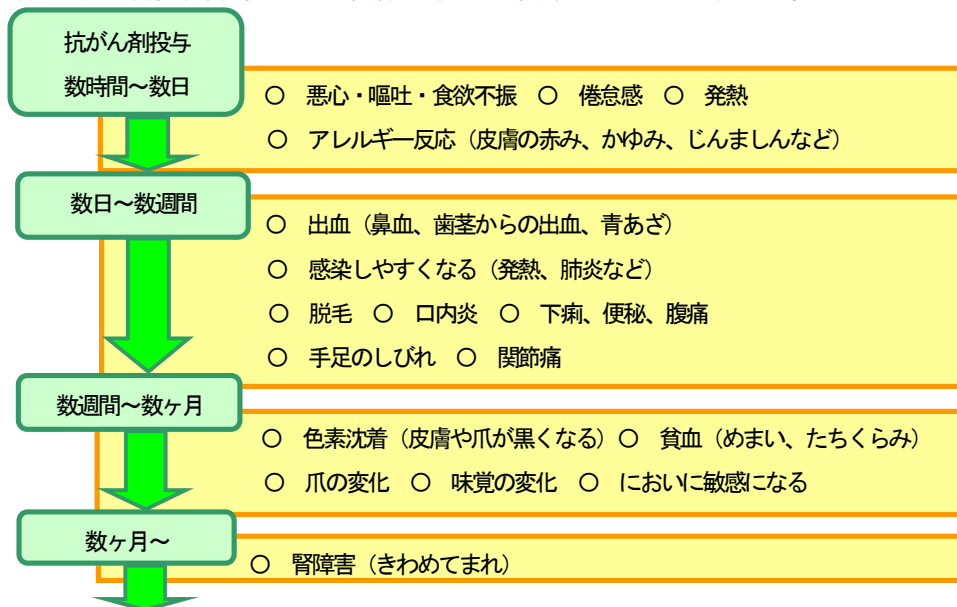
**\*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

## ◎副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗がん剤による副作用だけでなく、他の抗がん剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## ◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

**【ポマリストカプセル】**

〈深部静脈血栓症、肺塞栓症〉急激な手足の腫れ・痛み・しびれ・発赤、呼吸困難、胸痛

〈脳梗塞〉突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、意識障害

〈骨髄抑制〉全身倦怠感、発熱、歯ぐきの出血

〈感染症〉咳、痰、発熱

〈間質性肺疾患〉発熱、から咳、呼吸困難

**【エムプリシティ】**

〈インフュージョンリアクション〉発熱、かゆみ、汗の増加、皮膚の吹出もの、さむけ、下痢

〈感染症〉かぜのような症状、からだかたまり、発熱、嘔吐

〈リンパ球減少〉発熱、のどの痛み

〈間質性肺疾患〉発熱、から咳、息苦しい、息切れ

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。